

▶生徒のいない教室で、模擬授業をする教育実習生。



お互いが生徒役に 教育実習生頑張ってます



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

学校が休校になつて授業がなくなつてしまつた教育実習の先輩方。休校が決まつた20日SHR直後に、休校による教育実習への影響について、話を伺つた。



野瀬智華子先生は2週間の実習。「実習が2週間の人は今日で終わりだったのでそれほど問題ないと思う」と話された。森野真帆先生は3週間。「大学に今から連絡するところ。休みの間は学校へ来て勉強する。教育現場の裏側を経験できたかな」とのこと。村田亮先生は2週間。「20日の5時限目に研究授業があつたけど、なくなつてしまったのでどうなるかわからない。大学に確認中」だそう。西川礼華先生は3週間。「休校中は学校へ来て美術のことを学びたい。休校最終日までの実習期間だったが、一日延ばした。自分が高校生でこんな状況だったら映画鑑賞してみたい」と話された。

21・22日はお互いが生徒役になつて模擬授業。生徒役の人

間が悪いときにフローティングスクールに行ってしまった弟...

5月20日から21日にかけて小学5年生が琵琶湖の上でいろいろなことをし、琵琶湖についての理解を深めるという趣旨であるフローティングスクールが湖北5校（

伊吹、湯田、田根、

「うみのこ」

急遽方向転換！

山東西）が参加して行われた。長浜港を目的地大津へ向け無事出港した一行だったが、正午、琵琶湖を南下している途中、県内で新型インフルエンザに大津市在住の23歳の大学生が感染したという報告を受けた。これに伴い、児童175名、教員19名を乗せた「うみのこ」は急遽進行方向

をかえ、今津港に目的地を変えた。当初、大津港で降り、石山寺周辺で行う予定だった「大津タウンウォークラリー（班ごとに分かれて、問題の正解数と時間を競うウォークラリー）」は中止となり、その代わりに今津港周辺をみんなで歩くというただの「ウォーキング」になってしまった。

インフルエンザ真ただ中にフローティングスクールに行った弟は、「せっかく楽しみにしていたことが変更になって残念」と言った。そのほかにも、「フローティングスクールの夕食に出たステーキは固かった」「朝食は僕の嫌いなお魚が出て、嫌だった」とぐちをこぼしていた。（1年男子）

人はちゃんと当てられる。「他教科の人に当たるとそれなりに生徒らしい答えが返ってくる」とか。辻本唯晃先生は「ここをこつという風に工夫しているとか、逆にこつしたらしいとか親近感を持つて見られ参考になる」と実習生同士の模擬授業を評価。押谷雅人先生は授業を終えて「ちよつと緊張した」。また、休校明けに残された実習の1日を「27日はHRで生徒と話がしたい」と話してくださった。